

別記 提案書評価基準

評価項目		採点	評価基準(着眼点)	評価(審査)に係る提出書類
分類1 履行実績等	1 基本的認識	最高 5点	★本業務に取り組むうえで持つべき視点と課題意識等が、適切な提案となっているか。 目安：「特に優れている」(10割)=10、「優れている」(8割)=8、「普通」(6割)=6、「やや不十分」(4割)=4、「不十分」(2割)=2	企画提案書
	2 業務遂行能力	最高 5点	★業務の遂行にあたり、必要となる専門性を有した適切な体制がとられているか。また、全体のスケジュール設定が適切なものとなっているか。 目安：「特に優れている」(10割)=5、「優れている」(8割)=4、「普通」(6割)=3、「やや不十分」(4割)=2、「不十分」(2割)=1	業務体制の概要及び実施方法
	3 類似業務実績	最高 5点	★委託業務の実行力を示す類似業務の実績があるか。 目安：「特に優れている」(10割)=10、「優れている」(8割)=8、「普通」(6割)=6、「やや不十分」(4割)=4、「不十分」(2割)=2	類似業務等実績一覧
	履行実績等計	15 点		
分類2 企画提案	1 データ分析に基づく2040年の将来予測・可視化シミュレーション	最高 25点	★各種統計データ等を適切に活用し、都市構造やコミュニティの限界、地域経済等のシミュレーションが精度高く行うことができる手法等となっているか。また、2040年の将来予測が定量・定性の両面から明瞭に可視化される手法等となっているか。 目安：「特に優れている」(10割)=25、「優れている」(8割)=20、「普通」(6割)=15、「やや不十分」(4割)=10、「不十分」(2割)=5	企画提案書
	2 ヒアリング・先進事例調査	最高 20点	★適切なヒアリングや先進事例の収集等により、効果的な分析が行われる手法等となっているか。また、その結果と将来予測を掛け合わせ、2040年に向けたコミュニティ・人材の視点から本市のまちづくりの方向性の検討が可能な手法等となっているか。 目安：「特に優れている」(10割)=25、「優れている」(8割)=20、「普通」(6割)=15、「やや不十分」(4割)=10、「不十分」(2割)=5	
	3 共通視点の分析	最高 25点	★4つの共通視点（人材・共助協働・魅力・財源）から適切な分析が行われ、各視点に即した検討が可能な手法等となっているか。また、調査結果に基づき、課題解決に向けたブレイクスルーが的確に整理可能な手法等となっているか。 目安：「特に優れている」(10割)=15、「優れている」(8割)=12、「普通」(6割)=9、「やや不十分」(4割)=6、「不十分」(2割)=3	
	4 今後のまちづくりの方向性の提示	最高 15点	★現ビジョンとの整合性を意識しつつ、これまでの調査に基づき「ぶれない軸」や2040年の札幌市のあるべき姿が適切に導き出される手法等となっているか。また、今後のまちづくりの議論の前提となる方向性が明確に提示されうる手法等となっているか。 目安：「特に優れている」(10割)=10、「優れている」(8割)=8、「普通」(6割)=6、「やや不十分」(4割)=4、「不十分」(2割)=2	
企画提案内容計		85 点		
委員1人当たりの配点合計(A)		100 点		
委員4～7人による総配点数		400点～700点	〔最低基準評価点240点～420点(総配点数の6割)〕	

※ 審査(評価)事務を円滑にかつ早期に審議する目的から、評価点の満点等にあっては、評価に携わった実際の委員(出席者)数によって変動する場合がある。

※ 中間点（20点満点を17点とする等）による採点も可とする。